

---

## グローバルリーダーシップ通信 第185号

---

NPO法人グローバルリーダーシップ・アソシエーション（GLEA）の  
メールマガジン第185号をお届けします。ご意見・ご感想は<glea@npo-glea.org>まで。

### ◆今号の内容

1. トピックス
2. これからの活動情報
3. コラム『一人ひとりが「リーダー」であるということ』弁護士法人淀屋橋・山上合同 山口聡子氏

---

### 1. トピックス

---

◆理事会・総会の日程が決定しました。  
詳しくは<2.これからの活動情報>にて。

### ◆年会費のお願い

会費納入ご協力のお願いをお送りしております。  
会員の皆様には、本年度もご協力のお力添えをいただけますと幸いです。

---

### 2. これからの活動情報

---

#### ◆第17回通常理事会・第16回通常総会

日時: 6月18日(水) (理事会13:00～13:50、総会14:00～14:30)

場所: オンライン

#### ◆Visionary World Cup 2025

内容: 大学生、大学院生に交渉のスキルと考え方を学ぶ機会を提供  
一泊二日の合宿形式

日時: 9月5日(金)～6日(土)

場所: 望楼 青海波(淡路島)

共催: 株式会社パソナグループ(法人会員)

#### ◆第24回大学対抗交渉コンペティション

日時: 11月15日(土)・16日(日)

場所: 上智大学及びオンライン

---

### 3. 今月のリーダーシップ情報 【コラム／column】

---

弁護士法人淀屋橋・山上合同

弁護士 山口聡子 氏

『一人ひとりが「リーダー」であるということ』

今回このような形でコラムを書く機会をいただき、「リーダーシップとは何か」ということについて、改めて考えてみました。

私は弁護士として、企業や公的機関、ベンチャーや外資系企業など、さまざまな組織と関わる機会があります。内部のやりとりを部分的に見ることもあれば、業務の一環として現場に加わることもあり、法務以外の視点からその活動に触れることもあります。

組織の文化や風土は本当に多様で、それぞれに特色がありますが、リーダーシップという観点から見ると、ある共通点があるように感じています。それは、「一人ひとりが、自分に何ができるか、何をすべきかを考え、実行している」という点です。「リーダー」という言葉には、どうしても「全体をまとめる人」という印象が付きまといまいます。ただ私自身は、必ずしもそうでなくてもよいのではないかと考えています。「その場における、自分の役割を意識し、周囲とコミュニケーションをとりながら、一つひとつを着実に実行していく」そうした姿勢も立派なリーダーシップの一つではないでしょうか。

学生の教育に携わるなかでも、「リーダー＝目立つまとめ役」と捉え、自分とは無縁だと感じてしまう人は少なくありません。しかし、まとめ役でなくても、それぞれが自分なりの形で責任を果たし、組織に貢献していくこともまた、大切な「リーダーの在り方」だと思います。

私自身、弁護士という立場から物事を俯瞰して見てしまうことがあります。それが役に立つ場面もあれば、距離を感じさせてしまうこともあります。まだまだ至らない点ばかりですが、関わる組織や依頼者の方々の中で、自分なりのリーダーシップをどう発揮できるかを考えながら、これからも努めていきたいと思っています。

=====

発行元：NPO法人グローバルリーダーシップ・アソシエーション

発行責任者：野村 美明

(HP) <https://npo-glea.org/>

(TEL) 070-6560-2633